

# 日共・民青・セセ自諸君！

学外逃亡せず公開の場での

大衆討論に出てこい！（28日正午  
（C図書館前）

オベテの学生の皆さん、日共・民青・セセの鳥は10月24日のデッチ上げ「自治委員会」が、我々をはじめとする多くの学生の抗議によって粉砕されるや、今度は枯島にも学外（光正企業会館）へ逃亡せんと自論している。我々は、一部のシンパ層と良心的な自治委員会を開いてみ、た実の目から逃れようとする彼らの運動を断固として糾弾し、このまま密室的な場で形式的な民主制を採るのではなく、公然と大衆の前に（C図書館前）自治の路線について討論を行うことを提起する。

そもそも10月24日の「暴力事件」といわれるものも、ニセC「自・民」が我々の再三の公開の場での討論の呼びかけに全く答えることなく、本来デッチ上げであるC「自」の存在を前提として、強硬的に自治委員会を行わんとした彼らを、追及し、既成事実の隠み薙ね、居直りをつけることを許さないという観点から行ったものである。

我々は常にニセC「自諸君」に自治会運動についての討論を呼びかけてきた。しかし、彼らは自分たちと反対する潮流に対しては、「暴力学生」のし、テルをはり、「暴力学生」とは語す必要がないといふのみで我々との討論を避けってきた。それゆえ我々は「自治委員会」の会場へいつて彼らを追及せざるを得ないのである。

彼らは10・24の事態について実名入りビラによつて、自分たちの罪状をおおいやすくスキンヘーパーを行つてゐる。自治委員会の開催を我々は阻止するために、ビラをの実行使や、彼らが理学部BPI侵入逃亡しようとしていため、C「自」代表なる人物を追及したことは叶ひぬ。

しかし、糾弾せぬければならないのは、彼らの公開

討論からの逃亡であり、さらに「吉田家のすれりこみに対する學生部のテント撤去」のために起つた警察暴力に、どうぞ見下されといわればかりに撤去せらした実名入りビラとは書いてある。この2つは自治会運動の基本から大きく離れるものであり、断じて許してはならない。

さちにつけ加えておくならば、26日この2点について問は正をうとしたところ《お前らと語す必要はない》、《腰凳がめどと口實をつけ、一切まともに答えようしなかった。

日共・民青よ、赤旗や「全学連」機関紙に名を載せたいばかりに自治会をデッチ上げしまわるのは止めよ！ 学生へ強制して裏に見たまゝ所の監室談議を行つてはなく、C（C）の路線において公開討論を設定するから、その場に出でてい。出でこない時は、大衆的に若たちの路線が確立したことを宣言するに等しいことを覚悟せよ。

また多くの学生諸君、とりわけ10・24にむけてはじめて討論を重んじた自治委員の諸君、10月28日の公開討論会に参加され、形式的な制限なく自治会運動について討論することにより、共に自治の発展を模索していくことはないか。

## 全學 同學會 自治 委員會